

ワークショップによる物流マッチングイベント『ロジスク』

- 物流課題の解消に向けて、令和5年に、少人数のワークショップによる**荷主・物流事業者間のマッチングイベント「ロジスク」が発足**
- 「ロジスク」とは、**北海道の「ロジ」スティクスを、「スク」ラムを組んで「スク」スク育てていく**という思いを込めた造語
- ロジスク実行委員会※の主催で、中立の立場で共同輸送・中継輸送の実装、片荷輸送の解消等のための協議の場をセッティングします。
※北海道開発局、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道農政事務所、北海道、北海道トラック協会、北海道商工会連合会及びアドバイザーで構成



『ロジスク』の流れ

- 1 山積する物流課題**
 - 長時間輸送を改善したい
 - ドライバー不足で輸送できない 等
- 2 「ロジスク」にエントリー**
 - 「エントリーシート」を事務局に事前提出<輸送概要>
 - ・輸送品目・輸送ルート(OD)
 - ・温度帯、輸送時間帯、使用車種
 - ・希望する連携内容・・・
 - 協力相手に求める輸送概要も記入し、**参加企業が相互に事前共有**
 - 【注】可能な範囲で記入
- 3 テーブルセッティング**
 - 事務局がエントリーシートを分析し、**マッチングに適した配席を決定。**
- 4 「ロジスク」当日のイメージ**
 - マッチングの「種」を見つける**
 - ワークショップの1テーブルは4社8名程度
 - 1度に3～4回のワークショップを実施
 - ある1社と同席するのは原則1回のみ
 - 最後にフリータイムで配席に関係なく話し合うことが可能(対面開催の場合)。
- 5 共同輸送・中継輸送等の成立**
 - ロジスク後に事業者同士で連絡を取って具体的な協議へ**



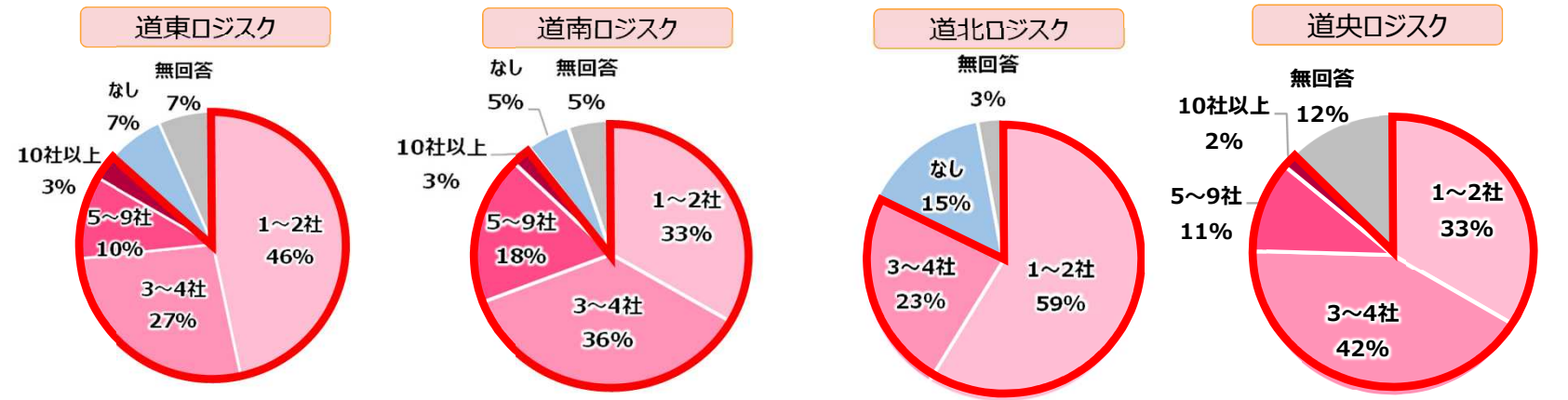
■ 令和5年度
【道北ロジスク】 令和5年10月6日（旭川市）
※共同輸送・中継輸送実装研究会主催 14社、20名
(事務局:北海道開発局、名寄市、名寄商工会議所)
【道央ロジスク】 令和5年12月4日（札幌市）
※共同輸送・中継輸送実装研究会主催 15社、29名

■ 参考：ロジスクに関連するイベント
【トラック運送業者連携・共創の集いin十勝】
令和6年2月21日（帯広市）
※北海道運輸局、北海道開発局主催

■ 令和6年度
【道東ロジスク】 令和6年7月17日（釧路市） 27社、38名
※北海道開発局、北海道運輸局、北海道経産局、北海道共催
【道南ロジスク】 令和6年7月26日（函館市） 31社、49名
※北海道開発局、北海道運輸局、北海道経産局、北海道共催
【道北ロジスク】 令和6年9月24日（名寄市） 30社、42名
※共同輸送・中継輸送実装研究会、北海道運輸局、北海道経産局、北海道共催
【道央ロジスク】 令和6年10月23日（札幌市） 48社、70名
※北海道開発局、北海道運輸局、北海道経産局、北海道共催

(注)参加社数・人数はオブザーバーを除く、ワークショップ参加の数

【R6：参加者アンケートの結果】 話が出来た企業のうち、マッチングに向けた話ができたと感じた企業は何社でしたか？



令和6年度の開催模様

